

秋冬製品のご案内

●こてっちゃん牛もつ鍋シリーズ……………

ご家庭で、手軽に牛もつ鍋をお楽しみいただけるシリーズです。

リニューアル



こてっちゃん
牛もつ鍋 醤油味

リニューアル



こてっちゃん
牛もつ鍋 味噌味

リニューアル



こてっちゃん
牛もつ鍋 旨辛チゲ

新発売



こてっちゃん
牛もつ鍋 しお味

●極亭(きわみてい) 博多名物牛もつ鍋シリーズ……………

ご家庭で、より本格的な牛もつ鍋をお楽しみいただけるシリーズです。

リニューアル



極亭
博多名物牛もつ鍋
醤油味

リニューアル



極亭
博多名物牛もつ鍋
味噌味

新発売



極亭
博多名物牛もつ鍋
しお味

●韓流食堂 具入りスンドゥブチゲシリーズ……………

牛もつ・牛すじ入りスンドゥブチゲ用スープです。豆腐や野菜を入れて手軽にスンドゥブチゲを楽しんでいただける新シリーズを発売しました。

新発売



韓流食堂
ホルモン入りスンドゥブチゲ

新発売



韓流食堂
牛すじ入りスンドゥブチゲ

会社概要

社名 エスフーズ株式会社
SFoods Inc.(コード番号2292東証プライム市場)
設立 1967年(昭和42年)5月22日
代表者 代表取締役社長 村上真之助
資本金 42億9,835万円
事業内容 食肉等の製造・卸売事業、小売事業、外食事業(グループ)

株式メモ

■事業年度 毎年3月1日～翌年2月末日
■期末配当金受領株主確定日 毎年2月末日
■中間配当金受領株主確定日 毎年8月31日
■定時株主総会 毎年5月
■株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
■株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先 電話 ☎0120-782-031(通話無料)
受付時間9:00～17:00
(土日休日および12/31～1/3を除く)

インターネット) <https://www.smb.jp/personal/agency/>
ホームページURL)

(ご注意)

【株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会】

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先へご連絡ください。

【未払配当金について】

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

■上場証券取引所 東京証券取引所
■公告の方法 電子公告により行う
公告掲載URL <https://www.sfoods.co.jp/investor/koukoku.html>
(ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)
■単元株式数 100株



SFoods News

2024年8月中間報告

2024年3月1日～2024年8月31日



代表取締役社長
村上 真之助

企業集団の営業経緯および成果についてのご報告

当社の経営環境

当中間連結会計期間における日本経済は、内需の伸びやインバウンド需要の回復増加などにより、緩やかな景気回復基調にありました。ただ、国内金利の上昇や海外経済の失速などにより国内経済が再び冷え込む懸念も捨てきれない状況ではあります。当食肉業界においては、消費者の節約志向の高まりから、原価及び諸コストの高騰分を小売価格に転嫁することが難しく、収益の確保が困難な環境が続いております。



エスフーズ株式会社 〒663-8142 兵庫県西宮市鳴尾浜一丁目22番13 TEL.0798-43-1065(代表)
<https://www.sfoods.co.jp>

このような状況のもと、当社グループは、食肉の生産から小売り・外食まで一貫して携わる食肉事業の垂直統合を戦略的に行っている総合食肉企業集団として、食肉商品の安定的供給と事業の持続的発展に努めました。

営業の概況

食肉等の製造・卸売事業においては、首都圏を抱える東日本での営業力の強化を進めました。また、国産牛肉事業では、銘柄牛を中心とした国産牛の販売ルートの充実と



神戸牛

シェアの拡大に努めました。輸入食肉事業においては、コロナ禍により傷ついた海外調達ルートの再構築を図りました。製品事業では、当社が強みを持つバラエティーミートや国産牛の優位性を生かした製品づくりを進めました。豚肉事業においては、当社独自ブランド「ゆめの大地」の品質向上と輸出強化を図りました。さらに将来の更なる成長に向け積極的な設備投資も継続しております。



オーロラアンガスビーフ

食肉等の小売業においては、不採算店閉鎖を実施するとともに、新規ディベロッパーとの取組みを含めた出店や改装店の立ち上げの他、新業態店舗モデルの開発及び推進を図っております。また既存店の活性化を図るための

イベント型提案販売やレイアウトの再構築等を実施してまいりました。外食業にあっては、インバウンドや大型のパーティー需要も寄与しているものの、原材料費やエネルギー価格の上昇を受け、メニュー改定を実施するなどの施策を行っており、今後も当事業を取り巻く環境は、厳しい状態が続くものと想定しています。今後もお客様に安全に安心してご利用いただけるよう日々の店舗運営維持に努めてまいります。



ゆめの大地

業績

以上の結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高2,189億円（前年同中間連結会計期間比4.7%増）、損益面につきましては、国内外とも原材料等のコスト高の環境下、収益確保に苦しんだことから、営業利益26億4千3百万円（前年同中間連結会計期間比68.3%減）、経常利益34億7千1百万円（前年同中間連結会計期

間比63.2%減）、親会社株主に帰属する中間純利益12億1千5百万円（前年同中間連結会計期間比83.0%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。なお、売上高は外部顧客への売上高を記載し、セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

①食肉等の製造・卸売事業

売上高は2,028億6千9百万円（前年同中間連結会計期間比5.0%増）、セグメント利益は22億3千8百万円（前年同中間連結会計期間比71.4%減）となりました。

②食肉等の小売事業

売上高は116億6千6百万円（前年同中間連結会計期間比0.8%減）、セグメント利益は6億5千万円（前年同中間連結会計期間比14.9%減）となりました。

③食肉等の外食事業

売上高は39億7千5百万円（前年同中間連結会計期間比7.5%増）、セグメント利益は2億7千3百万円（前年同中間連結会計期間比9.2%減）となりました。

④その他

売上高は3億8千9百万円（前年同中間連結会計期間比1.0%減）、セグメント利益は5千8百万円（前年同中間連結会計期間比345.3%増）となりました。

営業成績と財産状況の推移

●連結

単位：百万円

期別 区分	2023年8月 中間期	2024年8月 中間期	2024年 2月期	2025年 2月期予想
売上高	208,986	218,900	425,011	445,000
営業利益	8,333	2,643	12,673	7,300
経常利益	9,426	3,471	14,390	8,300
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	7,166	1,215	9,073	4,200
総資産	221,919	239,082	224,240	—
純資産	126,619	132,159	126,576	—

●配当の状況

単位：円

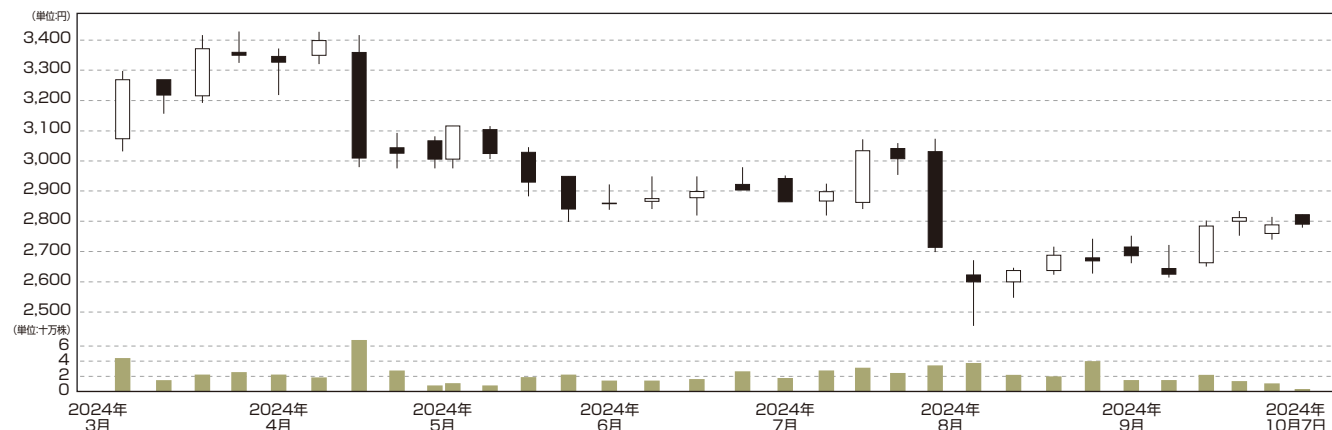
	2022年2月期	2023年2月期	2024年2月期	2025年2月期
一株当たり 年間配当金	70	78	84	89*
(中間配当金)	(35)	(39)	(42)	(44)
(期末配当金)	(35)	(39)	(42)	(45)*

*印は予定です

●株式の状況

発行する株式の総数 120,000,000株
発行済株式の総数 32,267,721株
株主数 6,128名

●株価の推移と株式の売買高



*東証・適足データ